

僕はタンザニアの
ジョージです。
僕の国では、たくさん
の子どもが路上生活を
していて、生き延びる
ために法を犯すことも
しています。彼らはボロを
まとい、栄養失調で病氣
だったりします。僕もそんな子
どもの一人でした。



僕は小さな小屋に10人で暮らす家庭に育ち、極貧
生活で、小学校も3年までしか行かれませんでした。
羊飼いをしていたけれど、9歳で家出しました。
絶望と孤独の中で泣きながら神様に、僕と家族を
見捨てないでほしいと願いました。

首都に向かう電車に乗り込み、切符を買うお金もなかった
ので何も食べずに2日間、座席の下に隠れていました。でも
警察に見つかり、殴られ、クタクタでした。こうして僕の路
上での生活、ありとあらゆる苦しみと屈辱に満ちた冒険が
始まりました。

それでも、いつか学校に戻りたいと思っていました。ある日、
食べ物を探してゴミを漁っているとき、ストリートチルドレンを
ケアするドゴドゴセンターのことを知りました。そのセンター
に僕は迎え入れられ、ケアを受けることができ、家族を見つ
けました。僕のような他の160人の子どもたちと作る家族で
した。

僕らは宗教も違うけど、共通しているのは新しい生活を始め
たい、やり直したいという意志です。

僕は学校に入りなおし、失った数年を最高の成績で取り戻し
ました。将来は弁護士になって、子どもの人権を守るために
仕事をしたいです。愛はすべてに克つということを証しでき
て、嬉しいです。

フォコラーレ
focolare.org/japan



マタイ 7:12

いのちの言葉

「人にしてもらいたいと
思うことは何でも、あなた
がたも人にしなさい」

あなたは、無限のものに
対する渇きをおぼえた
ことはありますか？

自分のしていること、今
の自分に、心の中で
満たされないものを感じ
たことはありますか？

もし、そうなら、安心して。
あなたの望んでいる、満ち
足りた気持ちを与えてくれ
るような方法があるから。

今月の福音
の言葉は
考えさせられます。



この言葉に要約される
「掟」は、あらゆる宗教に
共通のもので、人の心
に刻まれています。
とても貴重なものなので、



黄金律

と呼ばれています。

一日の間に
すべての人
いい人も、そうでない
人も、若者も高齢者も、
友人も敵も。皆をこんな
風に愛しましょう！

相手の立場に自分を置き
換えて、自分ならこうして
もらいたいと思うことを
してあげましょう。

私たちの内なる声は、
どんな時も、どんな状況
にあっても、どうすべきか？
教えてくれるでしょう。

その人はお腹を空
かせていますか？
私のお腹が空いている、
と思って、食べ物を
あげましょう。

その人は落ち込んでい
ますか？
それは私。
その人の辛い気持ちを
分かち合って、
慰めてあげましょう。

悩みを抱えている？
では、その人の問題を自
分のことのように感じられ
るまで、相手を愛しましょう。

いつもの私たちの考え方や、
行動とはずいぶんかけ離れ
ているかも知れません。
でも勇気を出して
やってみましょう！

これこそが、私たちの
自己実現につながり、
探し求めている
幸せ
を見つける鍵です。

ときには難しく感じ、以前の
生き方に戻りたくなるかも知
れませんが、前進しましょう。
いつもやり直して。少しずつ、
自分の周りが変わって
いくでしょう。

こうした生き方を、今
このとき、すぐ
傍らに
から始めてみましょう。

そんな風に過ごす一日
は一生にも値します。

福音を生きることは、
私たちの人生に彩り
を与え、世の中に
火が灯るのを
体験するでしょう。